

23年秋リニューアルオープン予定！ 藻岩山が 生まれ変わります

年間70万人もの市民や観光客が訪れる札幌のシンボル・藻岩山。
この藻岩山の魅力を、より多くの人に感じてもらえるよう、
4月からロープウェイなどの施設の改修工事を行います。

工事に伴い、4月1日(木)から
**ロープウェイ・
山頂展望台・観光道路**
を休止します

登山者の方へ

工事期間中も、登山道は利用できます。

※工事エリアには、一部回路を設けます

※山頂展望台の地階トイレと水飲み場、休憩小屋は、
8月ごろまで使用できます

なぜ、再整備が必要か？

施設の老朽化

ロープウェイなどの各施設は築40年以上が経過し、老朽化が進行していました。

急傾斜や段差

急な坂道や階段、段差など身体の不自由な方には非常に不便でした。

再整備の3つのポイント

1 バリアフリー

障がい者や高齢者も気軽に訪れることのできる場所に

2 環境保全

豊かな自然を保護し、自然の大切さを学ぶ場所に

3 観光

眺望スポット、自然体験の場として、より魅力的な場所に

市民の声

「身体が不自由でも山頂へ行けるようにしてほしい」

「山頂展望台は規模を縮小して」「原生林は伐採しないでほしい」

「札幌観光の目玉になるような場所にしてほしい」

市民からのさまざまな意見を踏まえ、計画づくりを進めました

- H16 専門家や市民委員から成る～17 懇談会を設置。市民1万人アンケートを実施
- 19.5 藻岩山魅力アップ構想を策定
- 21.3 計画案に関する市民意見を募集
- 21.7 計画策定
- 21.11 市民団体と意見交換会などを～12 実施。計画の一部修正を検討
- 22.2 市民300人が参加したシンポジウムで、市民意見を聞くとともに修正案を説明。その後、市議会経済委員会です承を得て決定

自然と触れ合いながら、誰もが快適に山頂へ(工事終了予定は23年秋)

リニューアル

山頂展望台



景観に配慮し、従来よりも規模を縮小。市内を一望できるレストランのほか、札幌について学べる施設、登山者の休憩所を設置。屋外にはアイヌ民族の伝統儀礼の場を設けます。

新設

ミニケーブルカー

中腹駅から山頂展望台まで、60人を乗せて樹木の中を快適に移動できる乗り物を新設します。



リニューアル

ロープウェイ中腹駅

藻岩山オリジナルグッズなどの売店や自然学習などのために市民や団体に開放するスペースを設けます。

緑の中を散歩できる自然学習歩道を整備！

ロープウェイも新車両に！

リニューアル

ロープウェイ山麓駅

入り口での車の乗降を可能にし、エレベーターを設置するなど、身体の不自由な方も快適に移動できるようにします。

山頂エリアの自然保護のため駐車場を移設。車両の乗り入れは中腹エリアまでになります。

市電停留場からシャトルバスを運行します。

市電停留場
ロープウェイ入口

新しい藻岩山の活用方法について、皆さんのアイデアや意見をお寄せください

応募方法 住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、はがき、ファクス、Eメールでお寄せください。

送付先 観光企画課 〒060-8611中央区北1西2
FAX218-5129 Eメールkanko@city.sapporo.jp